

平成21年度社会実験実施箇所

箇所名 : 広島県尾道市
実験名称 : 自転車の利用促進による「しまなみ海道」の活用社会実験
実施主体名 : 尾道市しまなみネクスト観光協議会

1. 地域の現状と課題

- ・高速道路1,000円サービスの実施により、しまなみ海道利用者が急増しているが、途中下車せずPAに車を置いて、自転車で島内を散策、回遊するニーズが高い。
- ・しまなみ海道沿線の各島の観光施設、商店街等からも、自転車利用者の立ち寄りを望む多くの声がある。
- ・島内のサイクリングコース及び周辺地域の自転車・歩行者の安全性確保が必要。

2. 実験内容

- ・しまなみ海道のPAに併設して(仮)サイクリストオアシスを設置しておいて、PAから直接自転車によって島内観光を行うための施策の検証。
 - ①自転車による島内観光スポット回遊のための情報提供
 - ②自転車サポートサービスの実施
 - ③レンタサイクルの実施
- ・自転車による島内の回遊をサポートする施策の検証。
 - ①誘導サイン、ヒヤリハットサイン等を設置し、安全で円滑な誘導を実施。
 - ②回遊ルートの既存施設を利用して、サポートサービスの実施。
- ・サポートサービスの持続可能な仕組みの検討。

3. 位置図・実験概要等



■ サイクリストオアシスのイメージ



【自転車の駅4つの機能】

- ① 休憩施設機能
- ② 情報発信機能
- ③ 地域の連携機能
- ④ サポート機能

【尾道・今治地域の活用自転車の駅ポータルサイト】

【自転車・歩行者安全対策】

- スラップの無い自転車対応の駐輪場
- 両側車道の自転車専用レーン
- 自転車専用レーン
- 両側車道の自転車専用レーン
- 規制区域適用の自転車専用安全ライン

【サイクリストオアシス(仮)設置場所】
広島県尾道市尾道 尾道市役所センタービル前、土生島分館、瀬戸田島、しまなみ海道瀬戸田PA
尾道市役所前、道の駅しまなみ、まがひ公園、道の駅しまなみ、たいしき館